

小学校との連携

地域の小学校と保育園・幼稚園・認定こども園が連携し交流する中で、お父さんは事前に小学校の様子を知ることができ、安心して入学を迎えることができます。



交流活動の例

《職員間の交流》

小学校の先生が園を訪問し、お父さんの様子を参観したり、一緒に活動したりしました。

《子ども同士の交流》

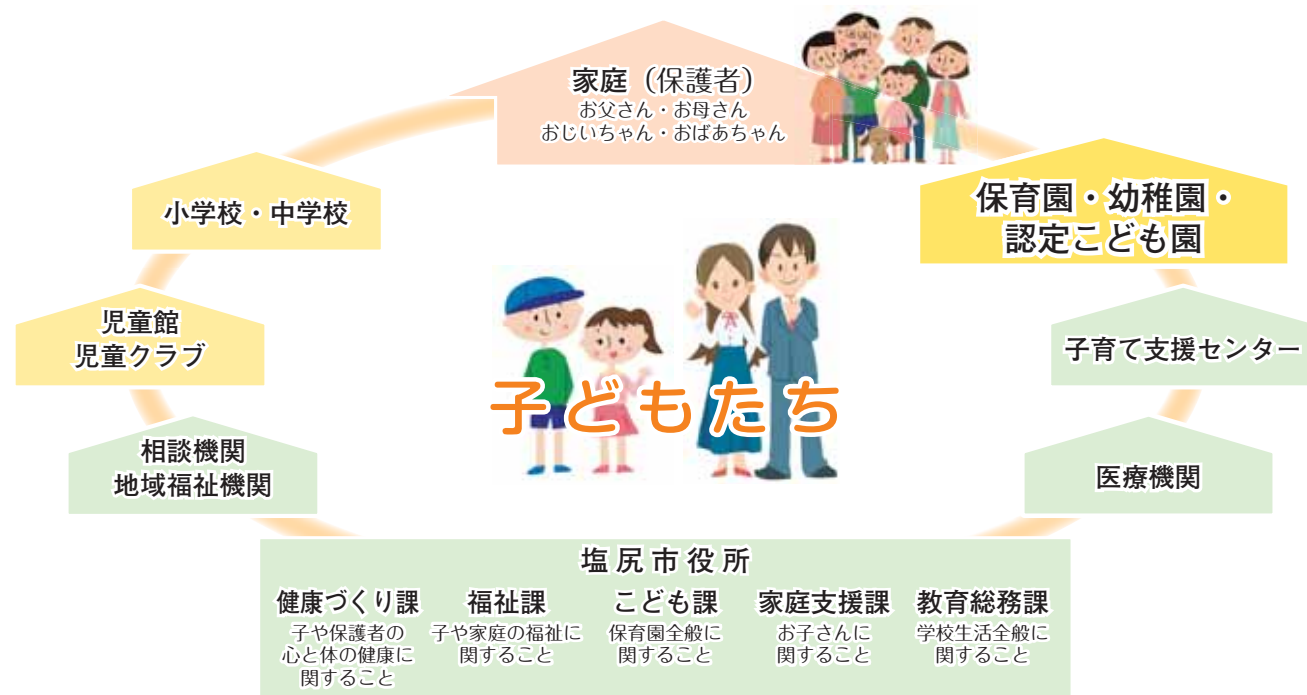
5年生と年長さんでペアを組み、1年間交流しました。入学後も顔なじみの6年生がいることで、安心につながります。

成長の様子を園から小学校に伝えるため、一人ひとりの成長の記録を小学校の先生に引き継ぎます。

小学校入学

小学生になると、子どもたちは徐々に保護者の手を離れ、自分でできることが多くなり、生活の様子が園生活とは大きく変わっていきます。本事業では、お父さんが安心して学校生活をおくることを願って、小学校に入ってから継続したサポートを行っています。

元気っ子応援チーム ～みんなで応援していきましょう～



相談窓口

塩尻市こども教育部 電話：52-0280
家庭支援課（内線 3182）、こども課（内線 3172）

塩尻市

元気っ子応援事業

子どもたちが、それぞれの個性や特性を大切にしながら健やかに成長し、持っている力を十分に発揮できるように、一人ひとりに応じた育ちを 18 歳まで応援していく事業です。

— 主な項目 —

- ・元気っ子相談
元気っ子相談当日の様子
- ・保育の充実
- ・元気っ子相談後のサポート
- ・小学校との連携



社会へ

高校

中学校
学校生活の充実
中学校フォローアップ訪問

小学校
学校生活の充実
小学校フォローアップ訪問

0歳～
乳幼児健診
(4か月、10か月、1歳6か月、3歳)
子育て相談、親子の心理相談等

保育園・幼稚園・認定こども園
元気っ子相談
保育・教育の充実
フォローアップ訪問
元気っ子相談後のサポート

子どもには、それぞれ個性や特性があります。子育ての方法も一つではありません。一人で悩まず、みんなで支え合いましょう。

塩尻市こども教育部

元気っ子相談

社会性が芽生える4～5歳になると、基本的な生活習慣が身につく、集団生活の中で友だちや仲間を意識した行動が見られるようになります。

この時期に、保護者の皆さんに集団の中でのお子さんの様子をご覧いただき、成長した姿や伸ばしたい力を確認します。

小学校入学に向けて、保育園、幼稚園、認定こども園、小学校、関係機関が保護者の皆さんと一緒に、お子さんの健やかな成長を応援していきます。

★通園している保育園・幼稚園・認定こども園で行います。(別会場で実施する場合があります。)

★実施日時については、通園している園からお知らせがあります。

★集団遊びの様子を、相談員が保護者の皆さんと一緒に参観し、個別に相談をします。(相談は教育相談員、家庭児童相談員、保健師、臨床心理士等が担当しています。)

保育園・幼稚園・
認定こども園などの
年中児



元気っ子相談当日の様子

集団遊びを参観します

10人前後のグループで、担任の先生と次のような遊びを楽しみます。保護者の皆さんと相談員が活動の様子を一緒に参観します。

- ・自己紹介
- ・絵本を見る
- ・リズム遊び
- ・まねっこ遊び
- ・ルール遊び
- ・ごっこ遊び
- ・サーキット遊び

個別相談をします

・保護者の皆さんと相談員が、集団で遊ぶお子さんの姿と一緒に振り返り、成長した姿や応援していきたい姿についてお話しします。

・保護者の皆さんにご記入いただいた「相談カード」の内容や日頃の子育ての悩み、入学に向けた心構えや心配なことなどについて一緒に考えます。



「まねっこ遊び」



「ごっこ遊び」



「ルール遊び」

・「元気っ子相談」は、お子さんの成長の姿を確認することで保育内容を検証し、さらに保育を充実していくための機会になります。

～保護者の声から～
子どもの様子を見たり、相談員と話したりしたことで、子育てで大事にしたいことが見えてきました。



保育の充実

幼児期には、大勢の友だちと遊ぶ楽しさを味わったり、集団生活の中で学んだりする体験がとても大切です。それとともに、一人ひとりが自分の力を発揮し、やり遂げた満足感が持てる場面を数多く体験することも、子どもの成長にとって欠かせません。

そのために、日頃の保育の中で、次のようなことを大事にしています。

- ★同じ課題を友だちと一緒に取り組む中で
共感し合う気持ちを育て、自分の気持ちや行動をコントロールする力をつけていきます。
- ★課題をやり遂げる経験を積み重ねることで
達成感や次の活動への意欲を高めていきます。
- ★保育士や友だちに認められる心地よさの中で
自信や自尊感情を育てていきます。

さらに、少人数での活動を取り入れるなど、様々な工夫をしながら一人ひとりのお子さんに合わせたきめ細やかな保育をすすめています。

『発達をサポートするプログラムを取り入れた活動例』
10人前後のグループで、音楽遊びや運動遊び等を盛り込んだ活動を行ないます。「見通しを持って意欲的に参加する」「正しい文章で話す」「リズムや友だちの動きに合わせる」「身体全体のバランス感覚・調整力を養う」「頑張ったことを認め合う」等を大切にしています。

『制作場面での活動例』
クラスを半分に分けて行います。少人数の落ち着いた雰囲気の中で集中して取り組むことができます。先生の話をよく聞き、見本をよく見ることで、やり方がよくわかります。自分で完成させる喜びが自信につながります。

元気っ子相談後のサポート

フォローアップ訪問

年長組になってから、相談員や小学校の先生、保育士などのさまざまな職種から構成された「元気っ子応援チーム」が、日ごろのお子さんの様子を参観します。そして、お子さんの状況に応じた、より具体的な対応について園の先生と検討します。

いつでもご相談をお受けしています。

継続相談	お子さんの成長について、相談員がいつでもお話を伺い、具体的な手立てを一緒に考えます。
心理検査・相談	心理検査の結果をもとに、臨床心理士が関わり方を一緒に考えます。
医療相談	小児科医師が保護者の方の相談に応じます。
ことばの相談	家庭でできる具体的な関わり方について、言語聴覚士からのアドバイスが受けられます。
子育て応援教室	希望される保護者の方を対象に、子どもの見方や困り感に焦点を当て、関わり方を学びます。